

オランウータンとヒト、形態から考える

京都大学が東京・品川の「京大東京オフィス」で開く連続講座「東京で学ぶ 京大の知」(朝日新聞社後援)。シリーズ5「人間とその進化の隣人たち」の3回目が10月15日にあり、京都大学野生動物研究センターの幸島司郎(こうしま・しろう)教授が「オランウータンとヒト、形態から考える」と題して、オランウータンとヒトとの共通点から浮かび上がる人間の特徴について語った。



幸島司郎教授。氷河にいる昆虫から熱帯雨林の動物まで研究対象は幅広い。フィールドワークにこだわり、東京の人混みでの「すれ違い行動」まで研究した

分の霊長類が露出強膜を焦げ茶色に着色しているなかで、ヒトだけまったく色素がない、というほどの違いだ。

白目の大きさは「白目が大きいほど黒目が小さくなり、黒目を動かせる余地が広がる」「体が大きいほど、目玉だけを動かして見る方向を変えたほうが効率がよい」という2点から説明がつく。また横長の目は、木から下りて地上で生活するようになったヒトが水平方向に目を動かす機会が増えたため、発達したと考えられるという。

●「森の哲人」と呼ばれるわけ

一方でヒトだけに白目があるのは何のためか。幸島教授は、黒目の位置、つまり視線を強調する狙いがあるのではないかと指摘した。「『目は口ほどにものを言う』などと言うが、ヒトにとって視線のコミュニケーションは大事なもの。音声の一方で視線を使ったコミュニケーションも発達していると言えるのではないのでしょうか」

●オランウータンとヒトに共通する「目」

生物学的にヒトに近い大型類人猿のうち、チンパンジーやゴリラがアフリカに生息するのに対し、オランウータンは東南アジアにすむ。進化の過程でほかの大型類人猿より早く分化し、「ちょっと遠い親戚」と呼ぶべき存在だ。

しかし、顔の形態に雌雄の性差があったり、ほかの個体をじっと眺める行動をとったりと、チンパンジーやゴリラにはないヒトとの共通点も持つ。幸島教授はこの講演で、オランウータンとヒトとで形態が似ているという「目」を取り上げ、これらの共通点の背景を探った。

幸島教授によれば、ヒトの目の特徴は、①虹彩(黒目)の外側の「露出強膜」が白い、②目の中で露出強膜(白目)が占める割合が大きい、③目の輪郭が横長、の3点。①は、大部



講演に聴き入る聴講者。ヒトの目の動きのデータをとるのにハンバーガー店で食事をする客を店外からガラス越しに観察した裏話など、エピソードに満ちた内容に何度も笑いが起きた

ら、「特に白いまぶたは若い雌の信号。オランウータンの表情のポイントが目にあることの表れだろう」と指摘した。

●好物はイチジクの実とマメ科の植物の葉

オランウータンは熱帯雨林の地上60～70メートルの木の上で生活するうえ、単独で行動するため観察が難しく、生態や行動に分かっていない点も多い。幸島教授は、マレーシア・ボルネオ島北部のダナムバレー森林保護区で続けている研究の様子を多くの写真で紹介しながら、ようやく見えてきたオランウータンの食生活についても説明を加えた。

オランウータンは元々雑食だが、ダナムバレー森林保護区では、主にイチジクの実や、スパトロブスと呼ばれるマメ科のツル植物の葉に頼る食生活をしているという。

この地域はエルニーニョ現象の影響で数年から数十年に1度、森中の木々が一斉に花と果実をつける「一斉結実」という現象が起こる。果実の量が極端に増減し、欠乏期にはマレーグマなど飢餓状態に陥る動物まで出るが、オランウータンは果実が多い時期も少ない時期も、主にイチジクとスパトロブスを食べつないで生きていることが分かった。



マレーシア・ボルネオ島のオランウータンの親子
(京都大学野生動物研究センター・金森朝子研究員提供)

森林伐採による生息地の消失が主な原因となってオランウータンの数が急減するなか、こうした食生活の研究成果は守るべき森、植物を決める際の科学的根拠となる。

こうした指摘は、形態が似た目を持つオランウータンにもできそうだという。オランウータンはしばしば、じっと相手を見つめたり、見つめて何か考え込む様子をしたりすることから「森の哲人」との異名も持つ。「樹上で互いに見たり見られたりというビジュアルコミュニケーションをとっているのではないか」というのが幸島教授の推測だ。

さらに幸島教授は、オランウータンの特徴である顔の性差が出るのが目の周辺であることにも着目。年をとるにつれて雄と雌の間で顔の色や特徴に違いが出てくることを写真やイラストで示しながら

また、オランウータンが生きられる森を残すことは、ほかの野生動物が生き残れる環境を残すという象徴的な意味も持つ。

「オランウータンの生態や行動を理解することなしに、その保全やヒトとの共存を実現することはできない」。幸島教授はそう研究の意義を強調した。

(※原稿及びクレジット未記載の写真は朝日新聞社提供)